

長野の林業

平成29年6月10日発行
長野の林業編集委員会

No.329

もくじ



特集	国際ウッドフェア報告	2
	信州産カラマツのブランド名を発表	4
	森林フォーラムの開催	5
トピックス	スマート林業① 治山レーザー測量解析	6
森の元気情報	林業の若き担い手(その4) 長野県林業労働財団	8
お知らせ	林業労働災害防止協会長野県支部	9
県森連だより		10
長野県の木材市況		12



ビッグハットアリーナ 展示ブース

国際ウッドフェア2017が開催されました

平成29年5月24日から26日にかけて、長野市において国内外の林業・バイオマス関連機器の展示、次世代林業に向けた各種セミナーが開催されました。

多くの方々が来場され、活気あふれる3日間となりました。

国内初!
「国際ウッドフェア2017」
が長野市で開催されました

五月二十四日(水)から二十六日(金)の三日間にわたり、長野市ビッグハットと若里市民文化ホールにて、高性能林業機械、木質バイオマス関連機器を中心に森林・林業に関わる多くの分野の展示やセミナーが行われた「国際ウッドフェア2017」が開催されました。

初日には、開会式が執り行われ、駐日フィンランド大使のユッカ・シウコサリ氏、中島副知事らが出席し、テープカットを行い、初開催を祝福しました。

あいにく初日、二日目と、ときおり雨模様となりましたが、来場者の中には、「雨で現場が休みになったので、来場できた。」と嬉しそうに話す方もいらっしやるなど、結果として三日間を通し、国内外から約三八〇〇人(主催者・フジサンケイビジネスアイ発表)もの方に来場いただきました。

国際ウッドフェア期間中には、県が主催する様々な催し物が開催されました。長野県森林フォーラムや信州カラマツブランド化名称制定記念発表会についての詳細は別ページで改めてご紹介します。そこで、本頁では屋内外の展示の様子を中心に報告します。

屋外(ビッグハット前駐車場)

屋外には、十四ブースが展開され、各種林業機械、薪割機等の実



開会式の模様(写真中央：中島副知事)

機の展示、世界伐木チャンピオンシップ(WLC)に出場したチームハスクバーナ・ゼノアのメンバーによる伐木・造材のデモや林業大 학교とのコラボ企画などが行われました。

林業機械の展示では、長野森林資源利用事業協同組合・宮澤木材産業(株)が今年度、ロシアから届いたばかりの全幹材運搬用スキッドとグラップルローダーを展示しており、可動部分を実際に動かしての実演では多くの来場者が興味深く見学していました。

ハスクバーナ・ゼノアのブースでは、二日目に長野県林業大学校と、ハスクバーナ・ゼノア(株)による協定の調印式が執り行われ



ロシア製林業機械(長野県森林資源利用事業協同組合・宮澤木材産業(株)所有)



調印式後、みんなで記念撮影

れました。

今回締結した協定は、①学生の技術向上に関する事、②世界レベルのチェーンソー技術の供与に関する事、③学生による林業機械、防護ウェアなどのモニター実施に関する事、④林業機械を使用する学生の姿を通じた広報に関する事が主な内容となっています。

調印式後、覚書の内容に基づき、伐木技術を競う世界大会の世界伐木チャンピオンシップに出場したメンバークから二年生十人がチェーンソーの扱い方のレクチャーを受け、周囲では、学生

屋内ブースのメインは何と言ってもオーストリア大使館商務部がオーストリア企業十八社をコーディネートしたオーストリアパビリオンでした。ブース内では、応接スペースが設置され、オーストリアワインやお菓子を提供しながら、各社製品のPRを行っていました。パビリオンには、オーストリア企業が得意とするバイオマス関連機器やタ



知事の質問に堂々と答える林大生

屋内(ビッグハットアリーナ・会議室ほか)

屋内では、六十ブースを超えるバイオマス関連、林業機械の模型や部品の展示による紹介、長野県産材を活用した製品PR、ジビエ、大学の研究成果の発表、林業大学の紹介など、森林・林業に関わる幅広いジャンルの出展が行われました。また、ビッグハットの会議室や若里市民文化ホールでは、各種セミナーが複数開催されました。



オーストリアパビリオン

が記録を取るなど、熱心な姿が見られました。また、阿部知事も公務の合間を縫ってレクチャーの途中に駆けつけていただきました。将来の林業の担い手たちが真剣なまなざしで学ぶ姿を近くで見えていただき、さらに、学生の声を聞いていただき、事も出来ませんでした。

ワーヤダといった高性能林業機械を扱う企業に加え、今回、新たにレーザー技術を活用した林業のデジタル化を推進するためのツールを扱う企業が初めて出展し、大勢の来場者の関心を集めていました。

長野県ブースでは、信州の木先進的利用加速化事業で開発を進めた「接着重ね梁」、信州の木活用モデル地域支援事業で開発に取り組んだ産湯桶うぶゆおけの「うぶ湯桶」、伊那市が独自に取組んでいる地元産材を活用した棺桶など、特徴あふれる製品の展示のほか、シカの皮を活用した製品や長野県の観光地のPRを行いました。その他にも、長野県ブース周辺では、ひのきの畳床、木育関連製品の紹介など、地域に根付いた魅力ある木製品の紹介も行われていました。



長野県ブース

県では、オーストリアと平成二十五年度、二十七年に覚書を結び、県職員や林業事業体が渡嶼して現地の視察や県内においてフォーラムやセミナー等の開催を通じてオーストリアの林業やバイオマス技術の普及に努めてきました。二つの覚書は平成三十年度中に満了を迎えることから、今年度はこれまでの取組の成果の検証に加え、平成三〇年度以降の連携の在り方を検討していきます。

最後になりましたが、国際ウッドフェアの開催にあたりまして、出展して頂いた皆様、併催行事の企画・運営に携わっていただいた皆様、そして来場して頂いた皆様にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

【県産材利用推進室】

信州産カラマツのブランド化を推進 ブランド名「信州プレミアムカラマツ」を発表

五月二十五日、長野市のビッグハットにおいて、信州産カラマツのブランド名の発表会を開催しました。

当日は、国際ウッドフェア開催中ということもあり、外国の木材関係者をはじめ、報道関係者など約百五十名が発表会場に集り、「のぼり旗」や「カラマツ製品」も展示された会場には、長野県PRキャラクター「アルクマ」も参加



国際ウッドフェア2017での発表会の様子

し盛大に実施されました。

ブランド名は「信州プレミアムカラマツ」と命名したことを発表し、昨年より長野県と中部森林管理局でプロジェクトチームを組織し、木材関係団体と協働する中で取り組んできた経過を説明しました。

「信州プレミアムカラマツ」の規格は、長野県産の林齢八十年生以上の高齢級カラマツ人工林から

出材された径級三十 cm 以上の良質な大径材丸太としております。

人工林カラマツは、高齢になるほど木材の性質が安定化し、ねじれにくい成熟材の多い大径材になります。スギやヒノキと比べ強度が優れており、心材部分は銜色できれいな木目をいかした無垢材として構造用等の建築材に使用されています。林齢八十年生以上の資源量は長野県が国内の四五%を占め、全国一の資源量を保有しています。

発表会には、長野県知事、中部森林管理局長、長野県森林組合連

合会代表理事会長、長野県木材協同組合連合会理事長の四名が出席

する中、阿部知事からは、「信州産カラマツの強みや美しさをPRし、全国に売り込んでいきたい。」とあいさつがあり、新島局長からは、「信州産カラマツは日本の住宅建築で国産材率の低い梁・桁などの横架材として今後期待できることや、時間とともにアメ色となるエイジングウッドとしての魅力があることから、計画的な供給に努め、林業の成長産業化や地域振興に繋げていきたい。」とあいさつがありました。

最後に、名称発表を記念して、奈良井国有林から出材された信州産カラマツで作ったプレートに発表者四名がサインを行い記念撮影をして発表を終了しました。

今後は、この「信州プレミアムカラマツ」を使用した梁などの製品のブランド化を進め、より付加価値を高めていくこととしています。

【中部森林管理局】

信州プレミアムカラマツ

長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から
径級30cm以上の良質な大径材丸太を厳選し
「信州プレミアムカラマツ」と称して供給・販売を開始します。

高齢級カラマツの特徴

- 人工林カラマツは、高齢になるほど木材の性質が安定化し、ねじれにくい成熟材の多い大径材になります。
- スギやヒノキと比べ強度が優れており、心材部分は銜色できれいな木目をいかした無垢材として構造用等の建築材に使用されています。
- 林齢80年生以上の資源量は長野県が国内の4.5%を占め、全国一の資源量を保有しています。

高齢級カラマツの資源量

- 林齢50年生前後の森林が大半ですが、大正から昭和初期に植栽された人工林から大径材丸太を生産します。
- 今後は高齢大径材が安定供給されますので、高品質な製品としての利用を推進します。

信州プレミアムカラマツの供給

- 平成29年度は長野県内から生産される丸太の中から、規格*1に合った材を厳選して、主に長野県各地の原木市場等に供給します。
- 市場では、のぼり旗によるPRや木口に産地、林齢を表示する外、物件詳細にも「信州プレミアムカラマツ」と表示しブランド化を図ります。
- *1：別紙（裏面）の品質・規格です。

○長野県産カラマツの良有林材の供給・利用に関すること
長野県林務部県産材利用推進室
(室長) 丸山 勝規 (課長補佐) 中野 恵司 (担当係長) 篠原 司
電話 026-235-1266 (直通) 026-232-0111 (代表) 内線3275
FAX 026-235-7364 E-mail:mokuzai@pref.nagano.lg.jp

○長野県産カラマツのブランド材の規格、密有林材の供給に関すること
長野県中部森林管理局資源活用課
(室長) 木村 敏彦 (担当係長) 古藤 厚
電話 026-236-2681 (直通) FAX 026-236-2686 E-mail:toshihiro.kimura720@maff.go.jp

PRパンフレット



新緑のカラマツ林

「森林フォーラム」が開催されました

「森林県」から「林業県」へ、森林・林業・木材産業のビジネスモデルを考える」をテーマに、五月二十五日に長野市ビッグハット会議室5において平成二十九年度森林フォーラムが開催されました。

当日はビッグハットの会場で、ウッドフェア2017が開催されるなか、二〇三人の参加者で会場が埋めつくされました。

今回のフォーラムでは、「林業のサプライチェーンマネジメントを考える」川上と川下をつなぐ情報連携」と題し、日本のロジスティクス研究の第一人者である椎野ロジスティクス研究所の所長である椎野潤氏から講演をいただきました。

椎野氏からは、専門である物流等のお話から「モノ」*1への転換している世間の情勢。また、ネット通販などのサプライチェーンの事例を通して林業に対して将来に幅広い可能性や、先進的な取組として北信州森林組合の取組を紹介していただくなど、熱気にあふれたご講演となりました。

特に、椎野氏は今、林業は極めて大切な時期となっており、長野県は国産材の創生の牽引者になることを期待し、長野県から林業で地域再生を行っていただきたいとの応援を含めて、熱くご講演いただきました。

長野県が「森林県」から「林業県」へ飛躍するためにも椎野氏の講演は、林業再生の取組みに対して様々な角度からの見直しに取組まなければならないと強く感じられました。

今後それぞれの地域に適した森林・林業が展開され、「林業県長野」へ大きく飛躍する一歩となればと思います。
椎野氏が今回の講演の様子をブログで取り上げています。興味のある方はお読みください。

<http://www.sendosha.com/blog/index.asp>



椎野氏の講演



開場内の様子

*1 モノのインターネット(Internet of Things)もろゆる「モノ」がインターネットに接続され、情報交換により相互に制御する仕組み。



ちやんとマン、空から山を見る

航空レーザー測量解析の実施

長野県では平成二十五年〜二十八年にかけて、県内民有林全域を対象に航空レーザー測量とそのデータを活用した地形や森林の解析を行いました。今回はその成果についてご紹介します

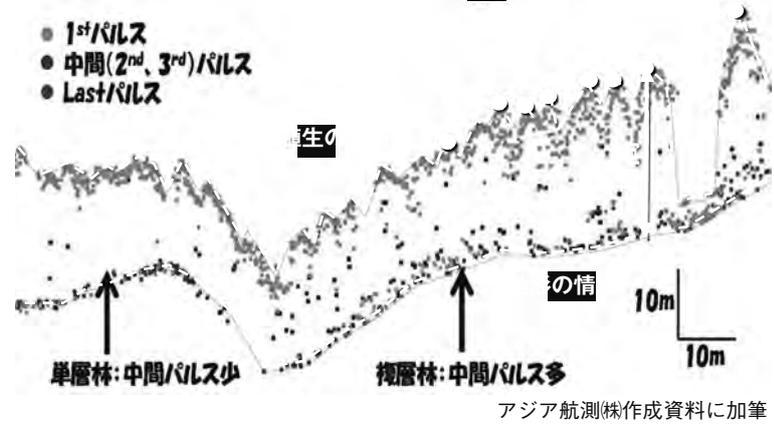
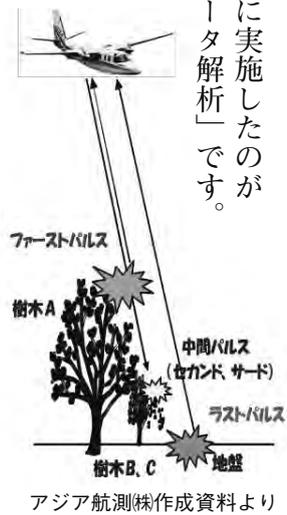
◆ 経緯 ◆

長野県では、荒廃もしくはその恐れのある森林の復旧や保全、保安林の機能向上などを目的として、治山事業により森林や治山ダムなどの保安施設の整備を行っています。山岳が多く森林資源の豊富な長野県には、次のような特徴があります。

- ① 森林面積が広い
(民有林面積約六八万haと県の大半を占める)
- ② 山地災害危険地区が多い
(土砂災害の恐れが高い箇所約七六〇〇箇所)
- ③ 地質が脆弱
(中央構造線、糸魚川静岡構造線、火山等・・・)

面積が広く危険箇所が多い民有林において、治山事業を実施する上で「速やかに整備が必要な森林をどのように見つけ出し、効果的に治山事業を実施するか」ということが課題となっていました。

その課題を解決するために実施したのが「航空レーザー測量とそのデータ解析」です。



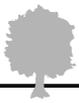
要整備森林の抽出

森林情報 ○ 林相図(樹種区分図)作成 ○ 立木本数・樹高・密度(収量比数)
+
地形情報 ● 傾斜・凹凸等詳細な地形
↓
山地災害危険度の高い箇所
要注意! 要整備すべき森林 事前防災対策

◆ 航空レーザー測量とは ◆

航空レーザー測量とは、航空機やヘリコプターなどにより、上空から無数のレーザーを照射し、その跳ね返ったレーザーの情報から、地形や地表物の状況を把握する技術です。

今回の測量では、mあたり四点(〇・五メートル間隔)という高密度でレーザーを照射しており、左図のように、詳細な地形情報や地表物(森林)状況まで詳細に把握することが可能です。これらの技術と成果を駆使し、速やかに整備が必要な森林を抽出することで、治山事業での活用を検討しました。



◆ 地形情報の解析 ◆

レーザ測量により得られた地形の情報（傾斜度や斜面の形状、曲率等）と既存の情報（地質区分など）を組み合わせて、崩壊の危険がある箇所や土砂流出の恐れがある沢などの危険箇所の抽出を行いました。

◆ 森林情報の解析 ◆

レーザ測量成果から、各立木の位置や最も高い点（樹頂点）を算出できることに加え、写真等とあわせて解析することにより、①樹種（スギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツ・広葉樹等）②樹高 ③単木の位置情報 ④林分密度情報の判読及び抽出を行いました。

そして、算出された疎密度をもとに、過密及び過疎な状態となり、公益的機能が低下している森林（不適正管理林分）の抽出を行いました。

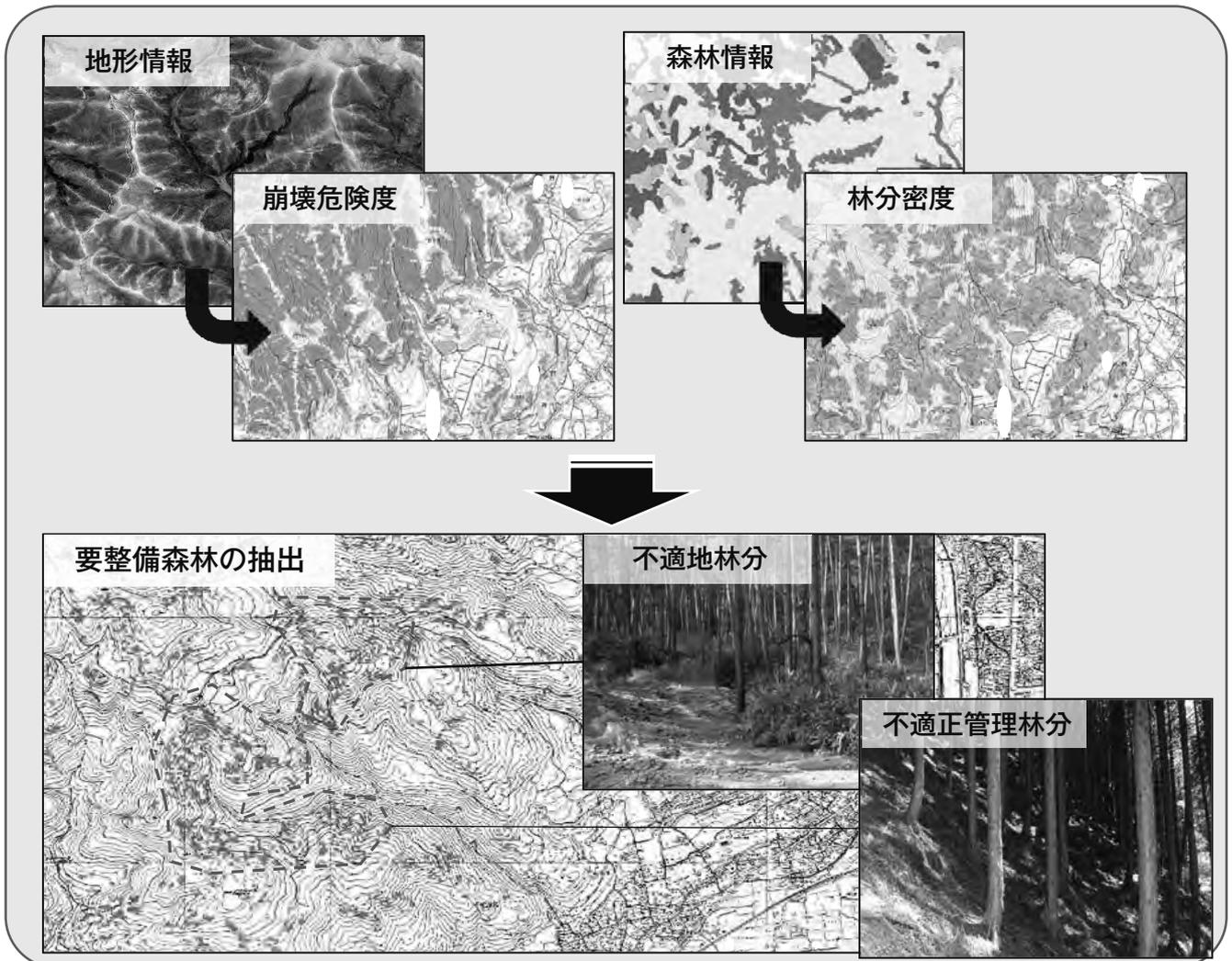
◆ 要整備森林の抽出 ◆

地形情報から得た崩壊危険箇所と、森林解析から得た不適正管理林分を合せることで、崩壊の危険が高く、災害の起点となる可能性が高い林分（要整備森林）の絞り込みを行いました。

今後の治山事業では、この要整備森林の整備を計画的に進めることで、森林の機能をより効果的に発揮させ、森林の崩壊等を防止する「事前防災」の対策を進めていきます。

また、長野県で実施したレーザ測量及び解析成果については提供することができますので、森林の管理や山地防災活動への活用を希望される場合は、森林づくり推進課・各地域振興局林務課までご相談ください。

【森林への推進課】



林業の担い手

〜県内認定事業者で働く
若き現場技能者たち〜

成熟期を迎えた森林の現場作業は、大径木の伐採や高性能林業機械作業が多くなってきています。そのような現場で働く若き担い手をご紹介します。
今回は大町市の企業組合山仕事創造舎です。

【長野県林業労働財団】



たまた のぶひろ
玉田 伸宏さん

年齢 37歳
経験年数 4年

◇趣味◇
マウンテンバイク
釣り

地域産業としての責任

林業が地域の産業として受け入れられるためには、品質の良い製品をつくるのが基本だと思います。そのために、現場のオペレーターとしても、地域の工務店や製材所が求めるものを学び、それに合わせた造材と仕上げを心がけていきます。

同時に、一般の人々にも受け入れられるような、木材の良さをいろんなかたちで発信していきたい



いと思っています。同じような気持ちを持った仲間たちと林業が出来るのが喜びです。



きたざわ かずや
北沢 和也さん

年齢 36歳
経験年数 1年1ヶ月

◇趣味◇
登山

信頼される林業士を目指す

我が家にも若干の所有森林があり、山仕事創造舎に相談したことがきっかけで就職しました。

先輩を見習いながら、まずは一人前に伐採が出来るように頑張っています。特に最近はずつレベルの高い技術にも、先輩の指導のもとで取り組みはじめたところです。

将来は、技術的なことだけでなく、幅広い知識と経験を重ねて、地元の人に山の管理を任せてもらえるような、林業士を目指したいと思っています。

事業主コメント

企業組合山仕事創造舎 代表理事

かやま よしと
香山 由人さん

現場技能者の協同事業として創業して18年目になります。

森林経営計画の策定と路網作設、機械化により、計画的な素材生産体制を整えてきました。

今後の課題は、安全な労働環境整備と素材の安定した販売です。

若い人には現場技能だけでなく、地域の森林環境や林業・木材業全般について幅広い関心を持ってもらいたいと思っています。



企業組合山仕事創造舎

所在地／大町市八坂11054
創立／平成12年7月
体制／現場技能者22名 管理部門4名
勤務時間／8:00-17:00
主な業務／素材生産、森林整備、特殊伐採



伐木等業務従者安全衛生教育の義務化のお知らせ

平成27年12月7日付基発1207第4号により

5 伐木作業

(1) 略 なお、チェーンソー作業に従事する労働者に対しては、危険又は有害な業務に現に就いている者に対する安全衛生教育に関する指針（平成元年5月22日付け安全衛生教育指針公示第1号）の別表14（略）で定めるチェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者教育を5年ごとに実施すること。

とされました。

当支部においても、30年2月16日に講習会を計画していますが、事業体によっては多く該当者が予想されます。人数によっては出張講習を致しますのでお気軽にご相談ください。

林業・木材製造業労働災害防止協会長野県支部 ☎026-227-0327

林業・木材製造業労働災害防止協会長野県支部 講習会等開催日程

年月日	講習会名	開催地	募集人員
29.06.13	刈払機取扱	林業センター（長野市岡田町）	60
29.06.15～16	伐木特別教育	森林組合連合会北信木材センター（長野市穂保）	60
28.07.13	刈払機取扱	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.07.27～28	伐木特別教育	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.08.02.3.4	車両系特別教育（学科）	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
29.08.07	刈払機取扱	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.08.21～23	車両系特別教育（実技）	長野県林業総合センター構内（塩尻市片丘）	各10
29.08.24～25	木材加工作業主任者	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.09.05	刈払機取扱	林業センター（長野市岡田町）	60
29.09.12～13	機械集材装置運転	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
29.09.14～15	伐木特別教育	森林組合連合会北信木材センター（長野市穂保）	60
29.10.5	刈払機取扱	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.11.09～10	伐木特別教育	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.11.15	造林作業指揮者	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
29.12.05～06	伐木特別教育	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
30.01.12	刈払機取扱	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
30.01.18	リスクアセスメント実務	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
30.02.02	刈払機取扱	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
30.02.16	伐木従事者安全教育	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60
30.02.22～23	伐木特別教育	長野県林業総合センター（塩尻市片丘）	60

※ 上記計画は変更する場合がありますので予めご承知おきください。

7月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
第50回木材まつり 7月29日(土)	7月19日(水)	7月6日(木) 中元謝恩市 7月24日(月)	7月4日(火) 7月25日(火) <small>入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。</small>

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45

☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島1431-1

☎0264-52-2483(代)

FAX0264-52-4885

やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村藪原844-1

☎0264-24-0085(代)

FAX0264-24-0086

坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

☎0573-75-3178(代)

FAX0573-75-3172



組合員や県民の皆様の信頼を回復するために行動宣言行われる

平成29年4月28日(金)に長野県庁特別会議室(長野市)にて、長野県森林組合連合会と長野県森林組合長会による「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」が行われました。行動宣言は、県内の森林組合系統が一丸となって、森林組合の社会的な使命に立ち返り、組合員や県民の皆様の信頼を回復するために行われたものです。



宣言文が渡されました

県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言

平成29年3月28日に構成組織である大北森林組合が補助金適正化法違反で有罪判決を受けた。

このことは長野県森林組合系統としても誠に遺憾であると共に、二度とこのようなことを起こしてはならないことを自らに肝に銘じなければならない。

森林組合は、森林所有者の協同組織であると同時に、国土の保全等に不可欠な森林整備事業を担う公益的な性格を持つ団体で、そうした森林組合系統の中で造林補助金の不適正受給を発生させ、森林組合員や県民の信頼を大きく損なった事実を私たちは重く受け止めるものである。

ついで、県内の森林組合系統が一丸となって、森林組合の社会的な使命に立ち返り、組合員や県民の皆様の信頼を回復するため、次の行動を行うことを宣言する。

- 1 森林組合での事業実施に当たっては、森林組合法や補助金適正化法等の関係法令の遵守とともに、関係行政機関並びに全国森林組合連合会の指導等に基づき公正な会計処理を更に徹底する。
- 2 特に公的な資金を交付されている森林整備事業については、事業の執行状況を組合員や県民の皆様にご理解いただくため、その内容を公表する取組みを進める。

なお、この宣言を実効性のあるものとするための緊急的な取り組みとして、各森林組合における事業の実施経過や経理等について、公認会計士等の専門家による客観的・専門的な観点からの厳正な指導助言を行います。

また、具体的な実施方法等については、長野県森林組合連合会が設置した森林組合経営改善支援委員会において、有識者の皆様のご意見も参考に、早急に検討を進めます。

平成29年4月28日

長野県森林組合連合会
代表理事会長 藤原 忠彦

長野県森林組合長会
会長 林 隆



林長野県森林組合長会長から説明



阿部長野県知事から説明

初めに、両者を代表して森林組合連合会・藤原忠彦会長から、県民の代表として阿部守一長野県知事に宣言文が渡されました。

次に、藤原会長から行動宣言の内容について説明が行われ、続いて、長野県森林組合長会・林和弘会長(飯伊森林組合組合長)、阿部守一長野県知事から説明が行われました。林会長は、同日、飯伊森林組合総代会が飯田市で開催されたため、飯田合同庁舎(飯田市)からのTV会議システムを使用しての出席となりました。

宣言の柱は、適正で公正な会計処理の徹底及び事業の執行状況を公表する取り組みを進めることで、このことを実効性のあるものとするために、事業の実施計画や経理等について、公認会計士等の専門家による指導助言を受ける仕組みを構築します。県内の森林組合系統は一致団結して信頼回復のためにさらなる向上を目指した取り組みを行っていく所存です。



平成29年度「緑の雇用」事業
第1回説明会・各種様式
作成研修会開催

4月25日(火)、塩尻総合文化センター(塩尻市)において、平成29年度「緑の雇用」現場技能者育成推進事業第1回説明会及び各種様式作成研修会が47事業体57名の出席により開催されました。

長野県林業労働財団・中村慎理事長の挨拶に続いて、(1)平成29年度事業概要について、(2)集合研修について、(3)研修修了者に係る登録制度の運用について、(4)監督・検査業務について、(5)能力評価シ



説明会の様子

ステムについて、説明が行われました。平成29年度緑の雇用事業では、助成金の配分方法や実地研修における指導体制、改善措置意見制度の厳格化について見直しが行われ、その内容についても詳細な説明が行われました。



パソコンの操作画面をスクリーンに表示して研修

引き続き、各種様式作成研修会が開催されました。緑の雇用事業の実施計画書の作成について、パソコンの操作画面をスクリーンに表示して研修が行われました。参加者は、持参したパソコンを実際に操作しながら実践的に書類作成を習得していました。

緑の雇用事業
今年度の主な変更点

①指導費の配分方法の見直し

研修生数の合計に応じて配置される指導員の人数に応じて指導費を助成します。

指導費の助成は、指導員を研修現場へ配置することが必須要件となります。

②研修管理費の配分方法の見直し

研修区分(FW1~3)にかかわらず、事業体当たり一律2万円/月を助成します。

③助成期間の見直し

研修区分(FW1~3)にかかわらず、助成期間の上限を月額助成で8か月、月額助成で140日に一本化します。

④就業環境整備費(社会保険料等の事業体負担分への助成)の助成要件の見直し

社会保険料等(雇用保険、厚生年金、健康保険、退職金共済制度)の全てに加入している者を助成対象の要件とします。

⑤改善措置意見制度の厳格化

頻繁に改善措置意見の通知を受けるなど、改善が見られない事業体に対して、当年度の研修の停止と翌年度の登録・研修計画の承認を行わないこととします。

林業セミナーのご案内

6月27日(火) 14時15分より、長野県林業センタービル5階会議室(長野市)において林業セミナー(主催・長野県森林組合連合会・長野県造林協会)が開催されます。本年は、長野県森林整備部計画課・課長補佐・城風人氏、整備課・課長補佐・吉川正純氏を講師に迎え、「森林環境税(仮称)の検討状況」について、「再造林等の森林施業の推進」についてと題して講演を頂きます。

森林整備や木材利用を推進することは、国土の保全や地方創生、快適な生活環境の創出などにつながり、その効果は広く国民一人一人が恩恵を受けるものとなります。間伐や主伐後の確実な再造林は、重要度を増し、今後も着実に推進することが必要で、そのための安定的な財源の確保も課題とされているところです。

このような状況を踏まえ、行政を担う方々や林業関係者等が林業の問題点と可能性を再認識するとともに将来の社会を創造する議論ができる環境を作るため、林業セミナーを開催します。

参加費無料です。問合せ先、長野県森林組合連合会指導利用課・林・TEL026-226-2504まで。

長野県の木材市況

平成二十九年六月十日発行

長野の林業通巻三二九号

発行局

長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内

(一社)長野県林業普及協会
(一社)長野県林業センター

電話〇二六(二二七)五〇一五
電話〇二六(二二六)五六二〇

Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp
Eメール rinfukyoo@giga.ocn.ne.jp

第990回 市売市況表

(平成29年5月31日実施)

長野県森林組合連合会

伊那木材センター

TEL0265-72-2684

Fax 0265-76-8759

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14~16	10,000	8,000	△	直造材でお願いします。
		直	18~22	14,500	14,000	△	柱材は価格低迷。
のき	4.0	直	14~16	13,000	8,000	○	価格横這いですが、材は不足しています。御出品される方はご連絡下さい。
		直	18~22	16,000	13,000	○	
		直	24~28	15,000	13,000	-	
		元	46	66,000	-	-	
すぎ	4.0	直	30上	13,000	10,000	-	直造材でお願いします。
		直	24~28	12,000	9,500	-	
しろかば	3.6	直	30上	24,000	-	○	
なら	4.0	直	18上	12,000	8,500	○	
げやぎ	4.0	直	50上	75,000	一本	△	良材に高値。広葉樹伐採される方はご連絡下さい。
アカシア	4.0	直	22上	38,000	-	○	
くるみ	1.8	直	52	36,000	-	○	
きはだ	4.0	直	20上	9,000	-	○	
さくら	4.0	直	30上	16,100	-	○	
くり	4.0	直	18~22	20,000	10,000	○	4m直材に需要あり。
	5.0	直	26上	28,000	-	○	
からまつ	4.0	直	18	13,000	10,000	○	材が不足しています。是非出品をお願いします。
		直	20上	12,000	10,000	○	
		直	14~16	8,000	4,000	○	

出品量 1,821㎡ 販売量 1,813㎡ 落札率 99% 買い方 30社

今回の市売りでは、広葉樹が主となり、良材には高値がつかしました。アカシアのこぶつぎに、上記のような値がつか驚きました。ひのき、あからまつに関しては価格は伸び悩んでいます。しかしながら材は不足していますので御出品よろしくをお願いします。尚出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。

第992回 市況表

(平成29年5月30日実施)

長野県森林組合連合会

中信木材センター

Tel 0263-77-2347

Fax 77-2349

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	△	3.0m×14~18cm柱取り引合いあり。20cm上は4.0m造材して下さい。
		直	30~48	13,000	10,000	△	
ひのき	3.0	直	20上	16,000	13,000	-	材不足しています。並材値段横這い。
		直	20~28	16,000	14,000	-	
からまつ	4.0	直	30~40	26,000	17,000	-	材不足しています。並材上がり基調。細物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		直	20上	15,000	13,000	○	
あからまつ	4.0	直	14~18	6,000	5,000	-	需要期を過ぎ全般的に価格低迷。伐採は控えてください。
		直	20~40	12,000	7,000	○	
くり	2.0~8.0	直	18~24	8,000	6,000	△	
くり	2.0~8.0	直	26上	12,000	6,500	△	
くり	2.0~7.6	直	16~36	30,000	11,000	○	良材に高値。広葉樹、応札活発ご出品下さい。
くり	1.4~6.0	直	14~80	78,000	一本売	○	
くり	4.0	直	18~36	23,000	15,000	○	
くり	3.0~4.0	直	22~36	53,000	10,000	○	

出品量 3,638㎡ 販売量 3,578㎡ 落札率 98% 買い方 44社

広葉樹・カラマツ以外は価格安値傾向です。特にカラマツ全般に需要があります(小径木5cm~も)。安値ながらも樹種問わず荷動きは見られます。ひき続き出品お願いします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1023回 市売市況表

(平成29年5月17日実施)

長野県森林組合連合会

北信木材センター

Tel 026-295-5546

Fax 026-295-5547

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	-	柱材需要あり。直造材でお願いします。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	10,000	-	
		直	8~13	5,500	4,500	-	
	4.0	直	14~20	12,500	9,500	-	需要あり。出品願います。出品願います。直造材で出品願います。
		直	22~28	14,000	11,000	-	
		直	30上	18,000	11,000	-	
のき	5.0	直	30上	18,000	12,000	-	伐採前にご相談ください。細物直造材を心がけて下さい。直造材でお願いします。
		直	9~13	9,500	6,000	-	
		直	14~18	11,000	8,000	-	
からまつ	4.0	直	6~13	11,000	6,000	-	需要あり。直造材を心がけて下さい。出品願います。需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~18	12,500	9,000	-	
		直	20上	18,000	13,000	-	
のき	6.0	直	14~18	6,000	5,000	-	直造材で出品願います。
		直	20上	13,000	12,000	-	
		直	26上	22,000	14,000	-	
くり	4.0	直	13~18	16,000	13,000	-	直造材を心がけて下さい。土木需要あり。出品願います。
		直	46	36,000	-	-	
くり	4.8	直	24~26	25,000	-	-	
		直	36	28,000	-	-	
くり	4.0	直	38	30,000	-	-	
		直	36	25,000	-	-	

出品量 4,935㎡ 販売量 4,688㎡ 落札率 95.0% 買い方 53社

今回の市売りは、スギ・広葉樹の出品が多く、大変賑やかな市売りとなりました。市況として、スギについては全体的に値下げの傾向となりましたが、良材には変わらず高値が見られましたので、今まで以上に丁寧な造材をお願いします。カラマツについては、前回は引き続き需要が多く、高値が見込めますので、積極的に出品をお願いします。広葉樹については、今回は大径木もなく、また時期も悪いことから、あまり高値は見られませんでした。これからの時期は極力伐採を控えていただきたいのですが、予定されている場合には事前にご連絡をお願いします。また、例年より早く剥皮している材(特にスギ)が見られるようになってきましたので、今後は測尺に注意した造材をお願いします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の)納品書の提出をお願いします。

第487回 木材共販市況表

(平成29年5月18日実施)

長野県森林組合連合会

飯伊森林組合木材共販所

出品量 1,750㎡・買い方 20社・落札率 93.0%

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考
ひのき	2.0	直	18~30	20,000	9,500	2,660	
		直	14	9,000	8,000	2,240	
		直	16	15,800	13,000	3,640	
	3.0	直	18~22	23,000	17,500	4,900	
		直	26~28	23,000	16,500	4,620	
		直	16~22	19,000	13,000	3,640	
のき	4.0	直	24~28	16,000	13,000	3,640	
		直	30上	20,500	15,500	4,340	
		直	16~22	25,000	17,000	4,760	
	4.0	直	24~28	23,000	20,000	5,600	
		直	30上	34,000	26,000	7,280	
		直	12~14	9,000	8,000	2,240	
からまつ	4.0	直	16~22	19,000	13,500	3,780	
		直	24~28	19,000	16,800	4,704	
		直	12下	360	300	一本売り	
すぎ	4.0	直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		直	20~22	10,500	8,000	2,240	
		直	24~28	13,000	10,500	2,940	
のき	3.0	直	30上	16,800	12,500	3,500	
		直	18~22	8,000	7,500	2,100	
		直	24~32	10,500	9,000	2,520	
からまつ	3.0	直	14~22	7,500	6,000	1,680	
		直	12~14	5,500	5,000	1,400	
		直	16	8,500	6,000	1,680	
	4.0	直	18~28	13,000	9,000	2,520	
		直	30上	14,000	9,500	2,660	
		直	14~30	5,000	3,500	980	
からまつ	4.0	直	12下	360	270	一本売り	
		直	20~24	7,500	6,000	1,680	
からまつ	4.0	直	26~28	10,000	7,000	1,960	
		直	30~42	13,000	10,000	2,800	

ひのき、引き続き出荷量、少なく、柱、土台材はやや不足で引合いあり。すぎ、活発に応札あるが、出荷量少なくやや価格は上昇。からまつ品薄で引合いあり、やや価格上昇。出荷量が少ない状況です。今後の出材に期待します。出荷協力いただきありがとうございます。